

# 説明文の 要旨をえらぼう

なまえ \_\_\_\_\_

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう。

ひづけ \_\_\_\_\_

## 1 気温と生き物を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

春になって気温が上がると、多くの生き物が活動を始める。冬の間、土の中や落ち葉の下でじっとしていた虫たちも、あたたかくなると動き出し、えさを求めて姿を見せる。このように、気温の変化は生き物の活動と深く関わっている。

1 気温の変化は生き物の活動と深く関わっている。

2 生き物は気温が下がるほど活発に動く。

3 虫は一年中、同じように活動している。

4 気温と生き物の間には関係がない。

## 2 水のすがたを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

水は温度によってすがたを変える。熱すると水じょう気になって空気中へ出ていき、冷やすと氷になる。同じ水でも、目に見える形は温度しだい大きく変わるのである。

1 水は温度によってすがたを変える。

2 水は熱すると氷になる。

3 水じょう気は冷やしても水にもどらない。

4 水のすがたは温度と関係がない。

## 3 森のはたらきを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

森の木々は、根で土をしっかりとつかんでいる。そのため大雨がふっても土が流されにくく、山くずれを防ぐことができる。森はただ木が集まった場所ではなく、わたしたちのくらしを守るはたらきをもっているのだ。

1 森は木が多いほど木材がたくさんとれる。

2 森は大雨のときに山くずれを起こしやすい。

3 森はくらしを守るはたらきをもっている。

4 木の根は土をつかむ力が弱い。

## 4 生き物のつながりを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

草を虫が食べ、その虫を小鳥が食べ、小鳥をさらに大きな動物が食べる。このように生き物は「食べる・食べられる」の関係でつながっている。どれか一つがいなくなると、このつながり全体に影響がおよぶ。

1 生き物どうしはたがいに関係なく生きている。

2 草を食べる動物はいない。

3 小鳥は虫を食べない。

4 生き物は食べる・食べられるの関係でつながっている。

🔍 いちごドリル プリント